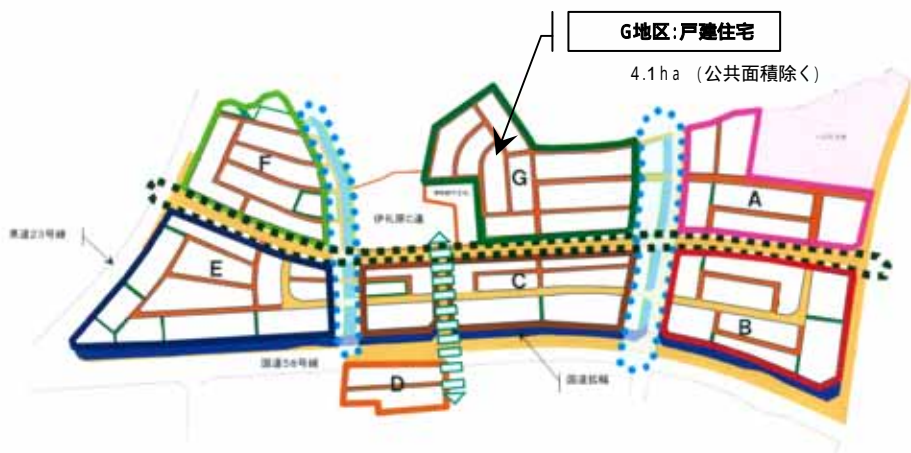


# G地区:戸建住宅地

## 低層高級住宅地



### マスタープラン案イメージ

- ・ 山側に100坪以上の大敷地の高級住宅地を作る（通称「桑江ヒルズ」）  
 風格のある景観づくり  
 かなり厳しいまちづくりのルール化も可能か？（緑化、駐車場の取り方等）
- ・ 中通り沿いは集合住宅  
 駐車場の取り方の工夫と駐車場入口のある程度の制限が必要

### 事例写真



セットバックによる緑化



駐車場緑化



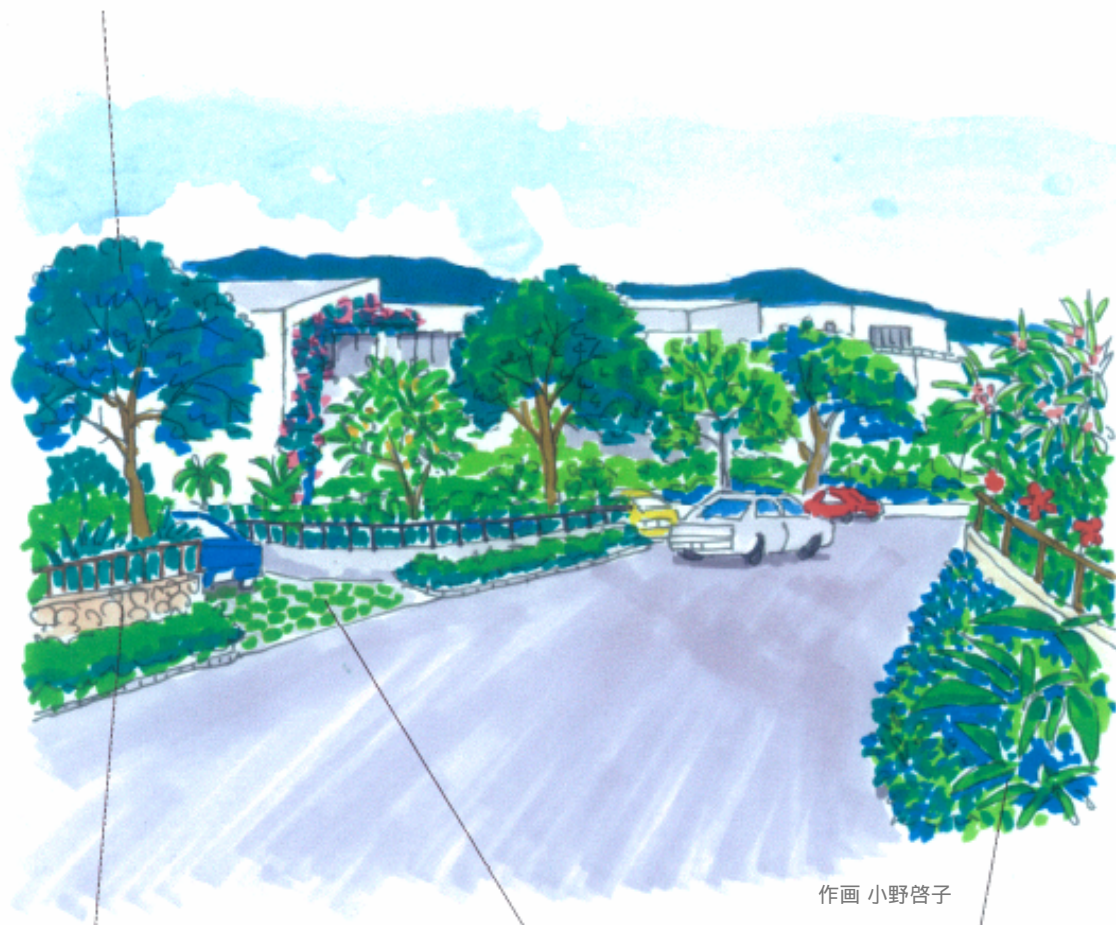
### 課題及び提案

- ・ 150坪以上的高级感のあるモデル的な住宅地をつくる。
- ・ 南入りの敷地をうまく取れるよう街区内の敷地割りを工夫することが望ましい。
- ・ 住宅地の景観形成を図るため、少なくとも1敷地1本、シンボルツリ（高木）を植える。できれば駐車台数一台につき、木を一本。
- ・ フェンスの高さを抑える(高さ120cm以下、60cm以上の部分は透過性にする)。
- ・ 駐車場の緑化を図る。
- ・ 沿道に60cm程度幅の植栽帯を設ける(セットバック)  
 通りの緑化・ゴミ置き場・電柱・保安灯の設置スペースとして利用
- ・ 擁壁のつくり方  
 できるだけ1m以内に抑えるようにする  
 高い擁壁ができる場合は緑化修景する
- ・ G地区上の斜面緑地を保全する。斜面地の緑は景観上重要で、北谷町のイメージを左右する。北谷町の限られた自然として守っていく。
- ・ 平屋が高くても2階建てまでが望ましい。

## 戸建て住宅地の整備イメージ（案）

### ●住宅地の景観形成

- ・少なくとも敷地1本、シンボルツリー（高木）を植える・
- できれば駐車台数1台につき1本



作画 小野啓子

### ●フェンスの高さを抑える

- ・高さ120センチ以下、60センチ以上の部分は透過性とする

### ●駐車場の緑化

- ・駐車場についてはできるだけ緑化する

### ●沿道の植栽帯

- ・沿道に60センチ程度幅の植栽帯を設ける。

### ●擁壁の作り方

- ・できるだけ擁壁を1m以内の高さに抑えるようにする
- ・高い擁壁ができる場合は緑化修景する



イメージ写真

出典：コモンで街をつくる：宮脇禮の住宅地設計、宮脇禮建築研究室編、丸善プラネット、1999年